取扱説明書

HITACHI
Inspire the Next

日立掃除機
CV-SH10

たつまきサイクロン
日立かるワザクリーナー

このたびは日立掃除機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- **この掃除機は家庭用です。業務用や掃除以外の目的にはご使用にならないでください。**
- **ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。**

お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

もくじ

長くお使いいただくために

ご使用前に必ずお読みください

- **サイクロン式クリーナーは、紙パックがいらない、吸込力が持続するという特長をもっていますが、性能を保つために、ダストケース、フィルターのお手入れは必要です。吸込力の低下を防止するため、以下のことを必ずお守りください。**

●大きなごみを吸わせないでください。
あめ玉の包みやティッシュペーパーなどの大きなごみを吸わせた場合、サイクロン室に詰まったり、フィルターにはり付いて、フィルターの目詰まりをおこす場合があります。
大きなごみがあるときは、取り除いてから掃除してください。

●一気に多量のごみを吸わせないでください。
多量のごみを一気に吸わせると、フィルターの目詰まりをおこす場合があります。多量のごみを吸わせるときは、少しずつ吸わせてください。

●細かい粉状のごみや、細かい綿ごみを集中して吸わせないでください。
小麦粉などの細かい粉状のごみや、エアコンのフィルターなどに付着した細かい綿ごみを多量に吸わせると、フィルターが目詰まりして吸込力が低下し、保護装置が働く場合があります。

●細長いごみを吸わせた場合
長いひもや髪の毛など細長いごみを吸わせた場合、内筒フィルターに巻きついたり、目詰まりして吸引力が低下します。内筒フィルターをお手入れしてください。

＜ごみの捨てかた＞

●ダストケースのごみは「ごみすてライン」を超える前に捨ててください。
吸込力の低下を防ぐため、こまめにごみを捨てることをおすすめします。

ご注意 ●ごみを捨てる前には、「切」スイッチを押し、電源プラグを抜いてください。

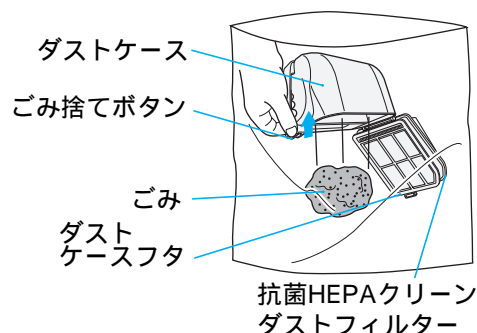
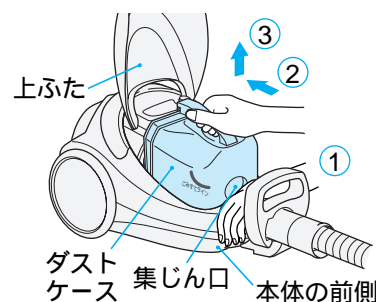
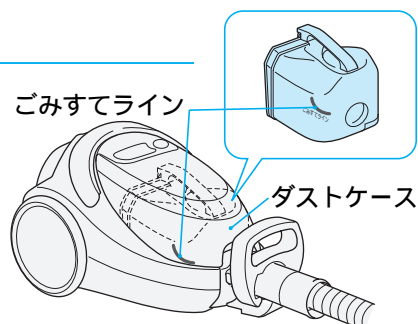
〈ダストケースの取り外しかた〉

①上ふたを開け、本体の前側を手で押さえ
②ダストケースを本体後方に押しつけながら
③引き上げる

ご注意 ●集じん口を下に向けないでください。ごみがこぼれる場合があります。

●ダストケースを大きめのごみ袋などの中に入れ、ごみ捨てボタンを押す

- ダストケースを下向きにしてごみ捨てボタンを押し、ダストケースフタを開けてごみを捨ててください。
- ごみが出にくい場合は、ダストケースの側面をたたくなどして振動を加えてください。

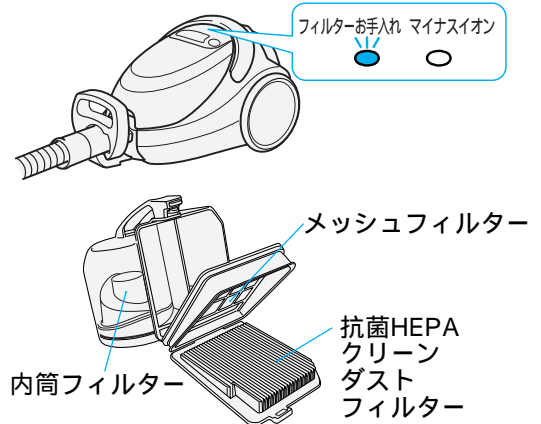
●抗菌HEPAクリーンダストフィルターにごみが付着した場合は、付着しているごみを付属の抗菌お手入れブラシで取り除いてください。

<ごみ捨てごとのお手入れ>

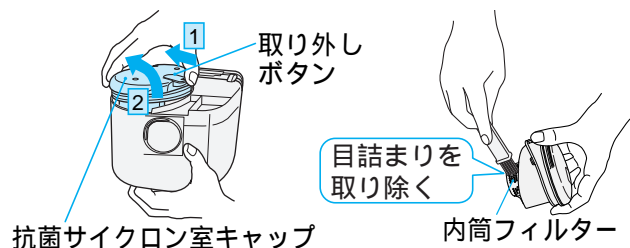
メッシュフィルターに付着しているごみや、細かいほこりなどを付属の抗菌お手入れブラシで取り除いてください。 ☞12

<「フィルターお手入れサインが点滅した」、「吸込力が弱くなった」、「運転音が高くなった」とき>

フィルターが目詰まりした場合、「フィルターお手入れ」サインが点滅し、自動的に吸込力が低下します。フィルターをお手入れしてください。 ☞13~15

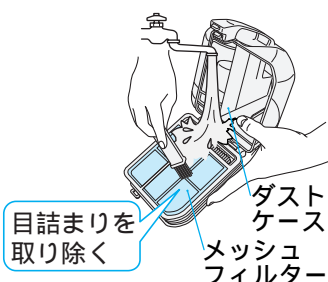
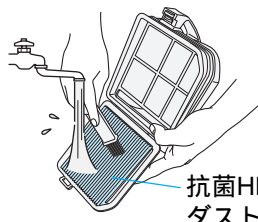
お願い ● **吸込力を持続させるために月に一度を目安にお手入れしてください。お手入れの目安はごみの種類や使用頻度により異なります。**

- **ごみ捨てごとのお手入れ後、ダストケースの各フィルターに付着しているごみを、付属の抗菌お手入れブラシで取り除いてください。** ☞14

抗菌HEPAクリーンダストフィルター

- ひだを広げて奥にたまったごみを取り除いてください。
- 取り外してお手入れすることもできます。☞14

内筒フィルター

<「お手入れしても吸込力が回復しない」、「汚れが気になる」とき>

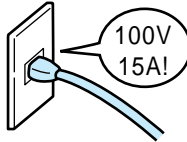
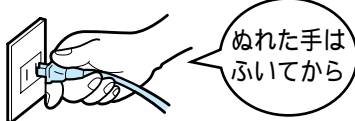
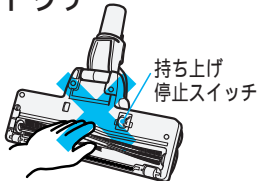
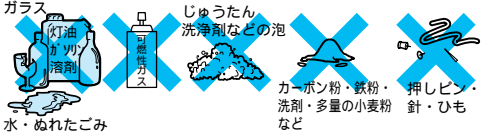
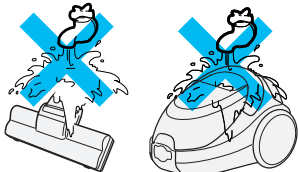
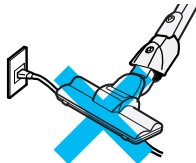
- **各フィルターを付属の抗菌お手入れブラシで軽くこすりながら水洗いしてください。十分に自然乾燥させてから取り付けてお使いください。** ☞15

メッシュフィルター / ダストケース

抗菌HEPAクリーンダストフィルター

- ひだを広げて奥にたまったごみを水で流してください。
- 取り外してお手入れすることもできます。☞14

内筒フィルター

- **ダストケースおよび各フィルターは、必ず取り付けて運転してください。モーターにごみが入り、故障の原因になります。取り付けないで運転した場合には、モーターの非常に大きな音がします。**

安全上のご注意 必ずお守りください

●ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

★ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示の例

	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	必ず実行していただく「指示」内容のものです。

⚠ 警 告

分解禁止

絶対に分解したり修理・改造しない

- 火災・感電・けがの原因になります。
- 修理は販売店、またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。

100V
15A以上

定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う

- 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く また、ぬれた手で抜き差ししない

- 感電やけがをすることがあります。

接触禁止

パワーヘッドの回転ブラシや持ち上げ停止スイッチには触れない

- 持ち上げ停止スイッチに触れると回転ブラシが回転し、手などをけがすることがあります。
- 特にお子さまにはご注意ください。

禁止

灯油、ガソリン、可燃性ガス、たばこの吸い殻などを吸わせない

- 火災や爆発の原因になります。

水ぬれ禁止

水洗いや風呂場での使用は絶対にしない

- 感電する場合があります。

禁止

電源コードを回転ブラシに巻き込まない

- 電源コードが損傷し、火災・感電の原因になります。

禁止

電源コードを傷つけない

（傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・挟み込むなどしない）

- 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

清掃

電源プラグのほこりなどは定期的に乾いた布でふき取る

- 電源プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

禁止

傷んだ電源コードや電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない

- 感電・ショート・発火の原因になります。

⚠ 警　告

差し込む

電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因になります。

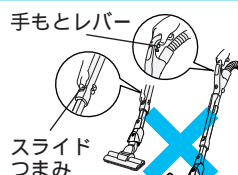
⚠ 注　意

電源プラグを持つ

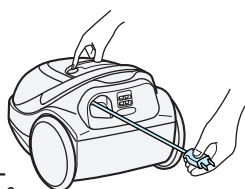
電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

- 感電やショートして発火することがあります。

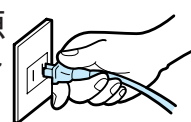
禁止

吸込口をふさいで、スライドつまみをスライドさせたり手もとレバーを引かない

- 延長管が急に縮んで、けがをすることがあります。

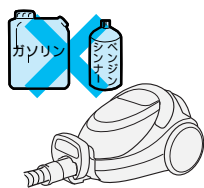
電源プラグを持つ

電源コードを巻き取るときは電源プラグを持つ

- 電源プラグが当たってけがをすることがあります。

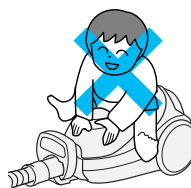
電源プラグを持つ

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

- けがやけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

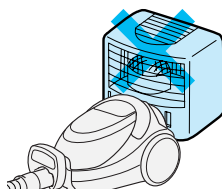
禁止

引火性のもの(ガソリン、ベンジン、シンナー)の近くで使用しない

- 爆発や火災の原因になります。

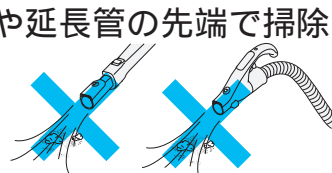
禁止

本体に乗らない

- 転倒などでけがをすることがあります。

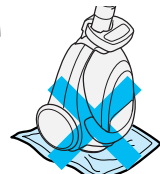
火気禁止

火気に近づけない

- 本体の変形によるショート・発火の原因になります。

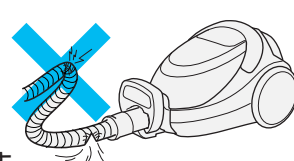
禁止

ホースや延長管の先端で掃除しない

- 感電や故障の原因になります。

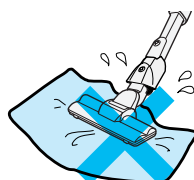
禁止

排気口をふさがない

- 火災の原因になります。

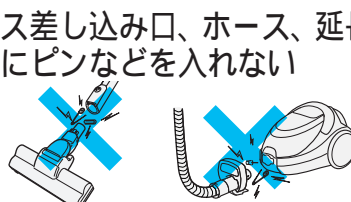
禁止

破れたり、傷ついたホースを使わない

- 感電の原因になります。

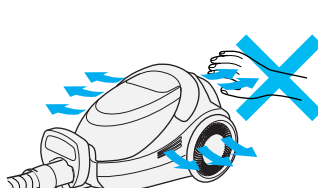
禁止

吸込口をふさいで長時間運転しない

- 過熱による本体の変形・発火の原因になります。

禁止

ホース差し込み口、ホース、延長管の接点にピンなどを入れない

- 感電や故障の原因になります。

禁止

排気口に手や足を近づけない

- 排気により、やけどをすることがあります。
  排気は、本体後部と本体横、車輪から出ます。

お願い

- 除じんばねの回転で、手などをけがすることがありますので、電源コードを引き出す際は、ダストケースを必ず取り付けてご使用ください。

各部のなまえと準備(組み立てかた)

すき間用兼サッシ用吸口

左右のフックのどちら側にも差し込めます。

すき間用兼
サッシ用吸口

カチッ

カチッ

カチッ

スライドつまみ

延長管

フック

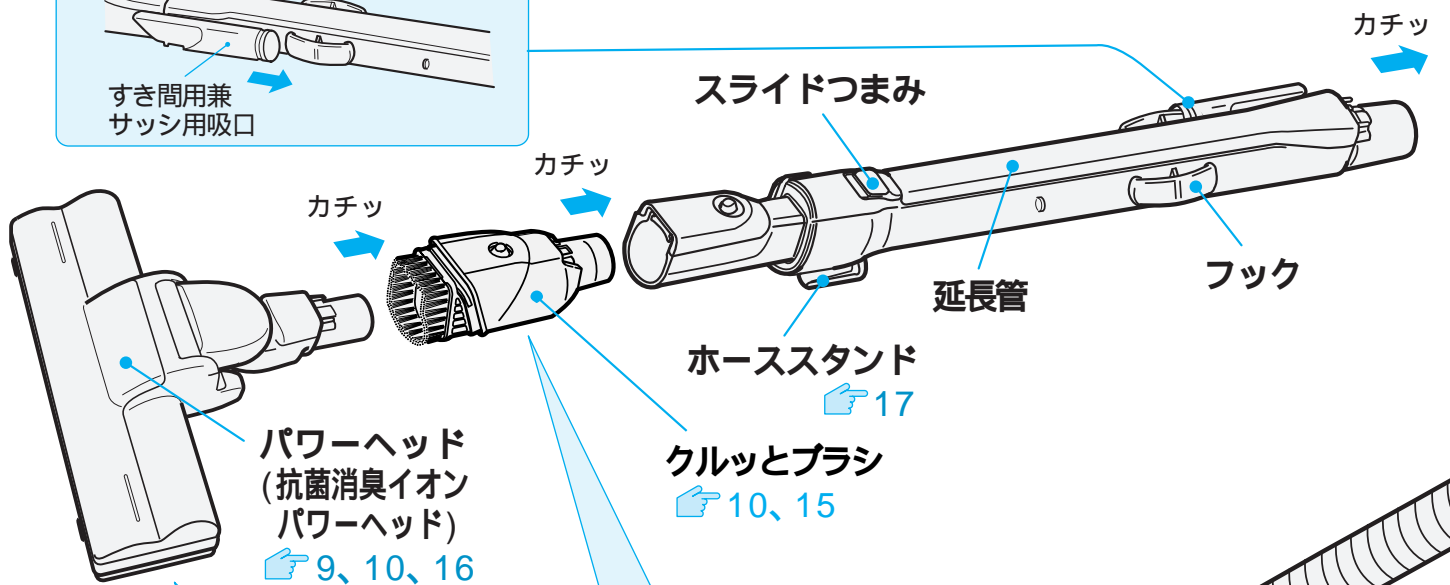
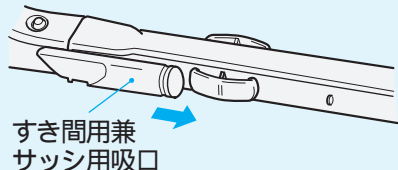
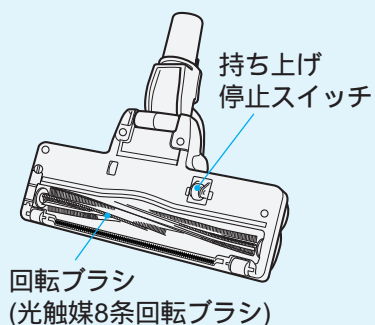
ホーススタンド
☞17

クルッとブラシ
☞10、15

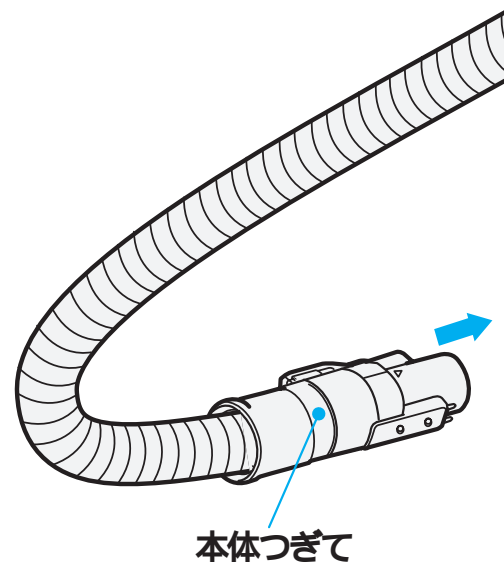
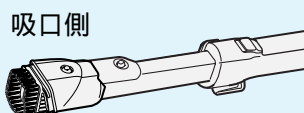
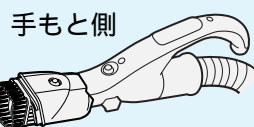
パワーヘッド
(抗菌消臭イオン
パワーヘッド)
☞9、10、16

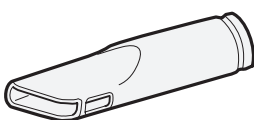
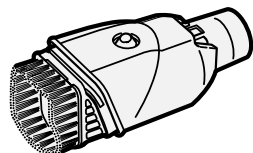
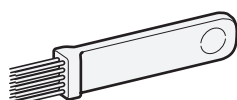
裏　側

持ち上げ
停止スイッチ

回転ブラシ
(光触媒8条回転ブラシ)

手もと側、吸口側のどちらでも接続できます。

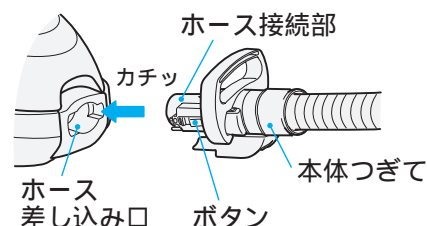
手もと側

吸口側

本体つぎて

付属応用部品

すき間用兼サッシ用吸口(1個) ☞10	クルッとブラシ(1個) ☞10、15
サッとハンドル(1個) ☞10	抗菌お手入れブラシ(1個)

ホース・サッとハンドルの取り付けかた

① サッとハンドルを本体つぎてに奥までしっかりと取り付ける

② ホース差し込み口とホース接続部を合わせ、「カチッ」と音がするまで差し込む

- 外すときはボタンを押しながら抜きます。

下図の部品があることを確認してください。　（☞のあとの数字は主な説明のあるページです）

手もと操作部
- グリップハンドル
- 手モコン(手もとコントロールスイッチ) ☞8
- 手もとレバー ☞11

本体パネル
- フィルターお手入れサイン ☞13
- マイナスイオン運転サイン
  マイナスイオンの発生をランプの点灯でお知らせします。

フィルターお手入れ　マイナスイオン

ホース

可動ハンドル

上ふた

電源コード巻き取りボタン ☞16

電源コード

電源プラグ

車輪(排気口付き)

サッとハンドル

カチッ

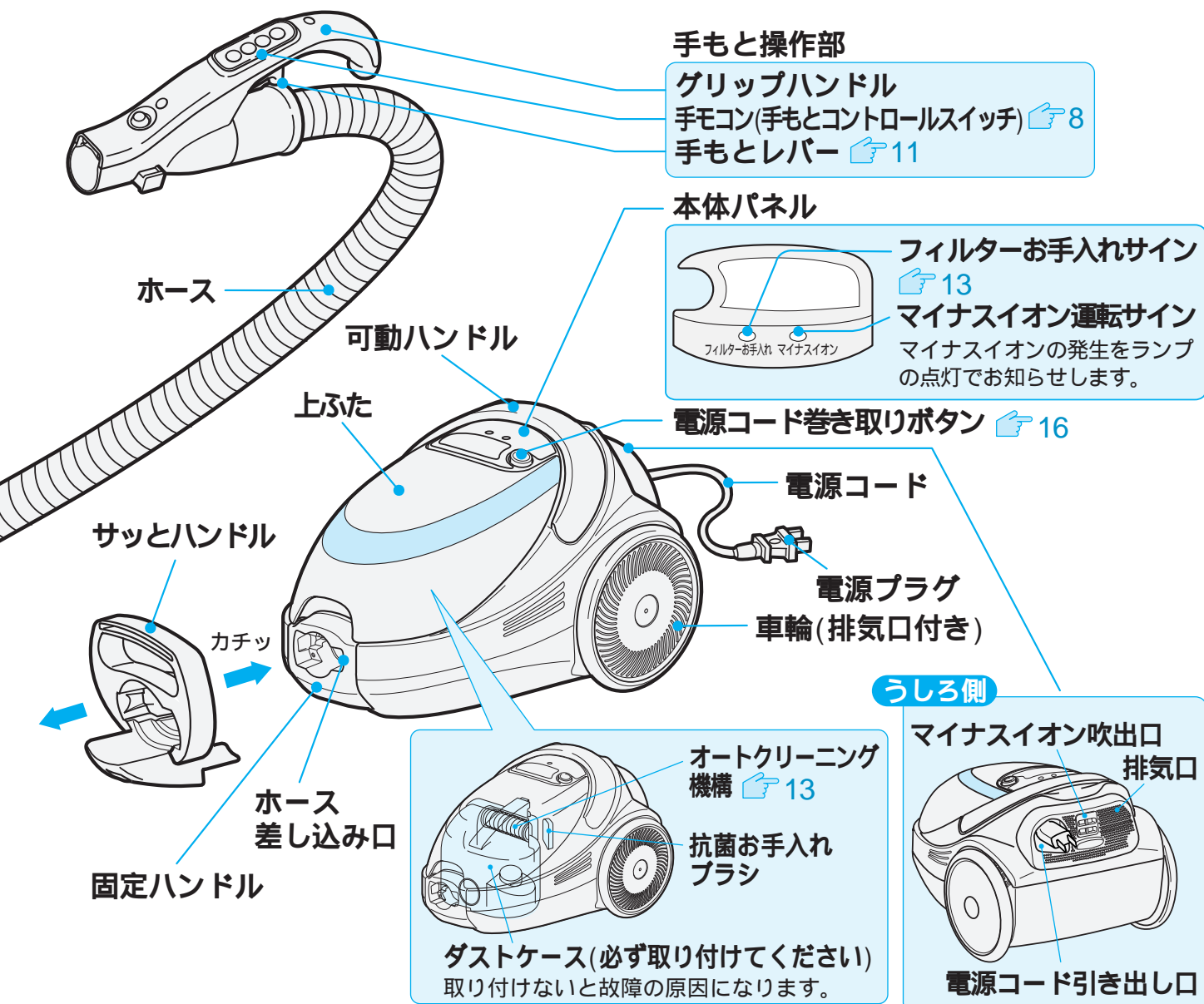
ホース差し込み口

固定ハンドル

オートクリーニング機構 ☞13

抗菌お手入れブラシ

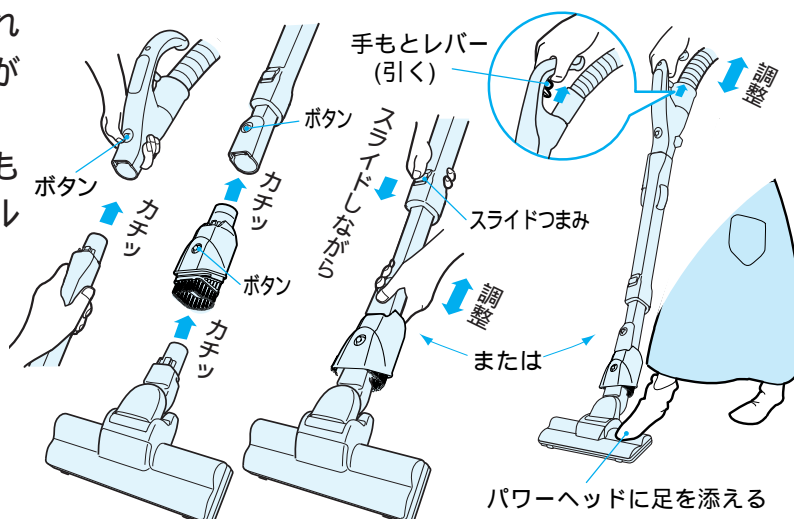
ダストケース(必ず取り付けてください)
取り付けないと故障の原因になります。

うしろ側
- マイナスイオン吹出口
- 排気口
- 電源コード引き出し口

各部のなまえと準備

延長管の長さ調整のしかた

ホース、延長管、パワーヘッドをそれぞれつなぎ、スライドつまみをスライドしながら延長管を伸縮させる
または、パワーヘッドに足を添えて手もとレバーを引きながらグリップハンドルを上下させる

- 延長管やパワーヘッドを外すときはボタンを押しながら抜きます。

ご注意 ● 運転中にスライドつまみをスライドさせたり、手もとレバーを引くと、延長管が短くなることがあります。

操作のしかた

手モコン(手もとコントロールスイッチ)について

パワーブラシスイッチ

パワーヘッドの回転ブラシ(パワーブラシ)を止めたり、回転させたりすることができます。
- 押すごとに「切」「入」の順に切り換わります。
  (パワーブラシスイッチでは掃除機本体は運転しません。)

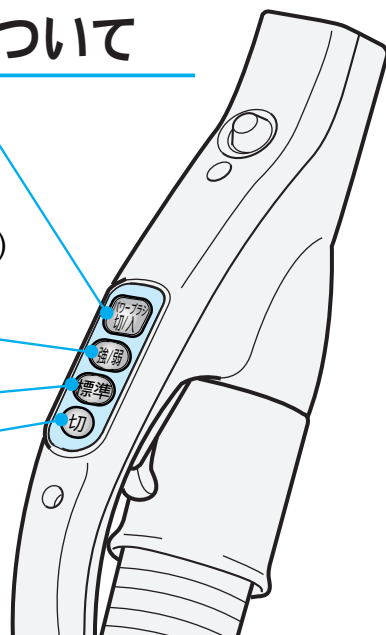
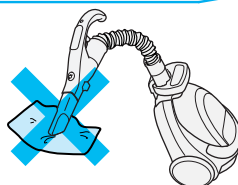
運転スイッチ

強/弱スイッチ
- 押すごとに「強」「弱」「強」…の順に切り換わります。

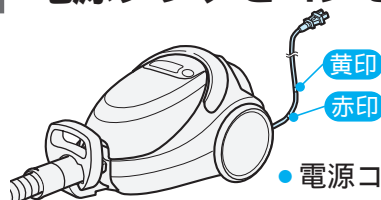
標準スイッチ

切スイッチ

運転を止めるときに押します。

ご注意
- 手モコンに衝撃を与えたり、水をかけたりしないでください。
- 吸込口をふさいだ状態で運転スイッチを押さないでください。
  ホースが急に縮んで、本体が転倒することがあります。

お掃除のしかた

1 電源プラグをコンセントに差し込む

黄印
赤印

コンセント

- 電源コードは赤印以上引き出さないでください。

⚠ 注　意

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
- けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

ご注意
- 延長コードを使用したり、ほかの家電製品と同一のコンセントをお使いになると、電源電圧の低下によりフィルターお手入れサインが早く点滅する場合があります。
  定格15A以上のコンセントを単独でご使用ください。

2 運転スイッチを押す

標準	強	弱
ふつうのお掃除のときに	**じゅうたんの念入りなお掃除やスピーディにさっとお掃除するときに**	**ゆか・たたみのお掃除のときやカーテンや薄い敷物など、弱い吸込力が必要なときに**

ご注意
- ゆか面の種類によっては、操作が重くなることがあります。このときは、弱 に切り換えてください。

3 ゆか面の種類に応じてパワーヘッドを動かす

じゅうたん

前後にパワーヘッドを動かしてお掃除します。引くときにごみがよく取れます。

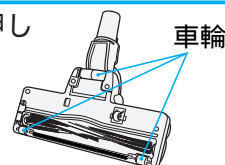
じゅうたんの毛がたくさん取れる場合
初めてのお掃除でじゅうたんのあそび毛がたくさん取れるためで、ご使用に伴い徐々に少なくなります。

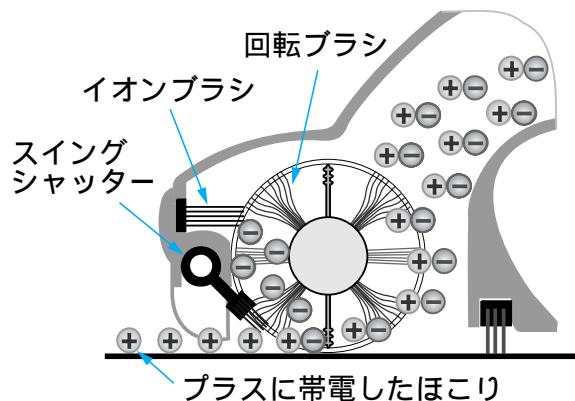
たたみ

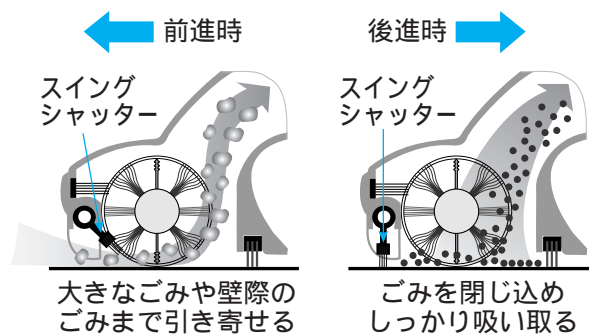
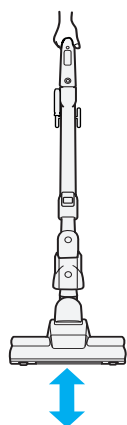
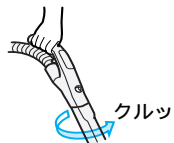
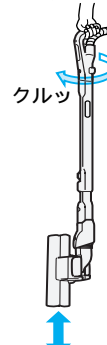
たたみの目にそって。たたみの傷つき防止になります。

ゆか

木の合わせ目にそって。ゆかの傷つき防止になります。

ご注意
- ひのきなどのやわらかいゆかの場合には、パワーヘッドをゆかに強く押しつけないでください。ゆかの傷つきを防ぐためです。
- 車輪が磨耗していると、ゆかを傷つけるおそれがあります。
  磨耗しているときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

パワーヘッドの動きについて

パワーヘッドに内蔵したイオンブラシと回転ブラシの摩擦によりマイナスイオンを発生させ、プラスに帯電したほこりを中和して取りやすくします。

スイングシャッターで、前進時は大きなごみや壁際のごみを引き寄せ、後進時はごみを閉じ込めしっかり吸い取ります。

- じゅうたんなどのお掃除の場合には、力を入れず、すべらせるように軽く動かしてください。
  (回転ブラシの回転で効果的にごみをかき上げるためです)

パワーヘッドの持ち上げ停止スイッチについて

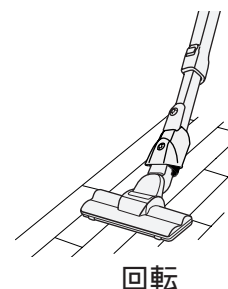
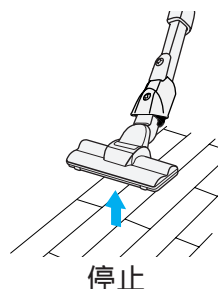
⚠ 警　告

パワーヘッドの回転ブラシや持ち上げ停止スイッチには触れない

- 持ち上げ停止スイッチに触れると回転ブラシが回転し、手などをけがすることがあります。
- 特にお子さまにはご注意ください。

パワーヘッドをゆか面から浮かせると、安全のために持ち上げ停止スイッチが働いて回転ブラシが止まります。

- 持ち上げ停止スイッチ部のお手入れは ☞16

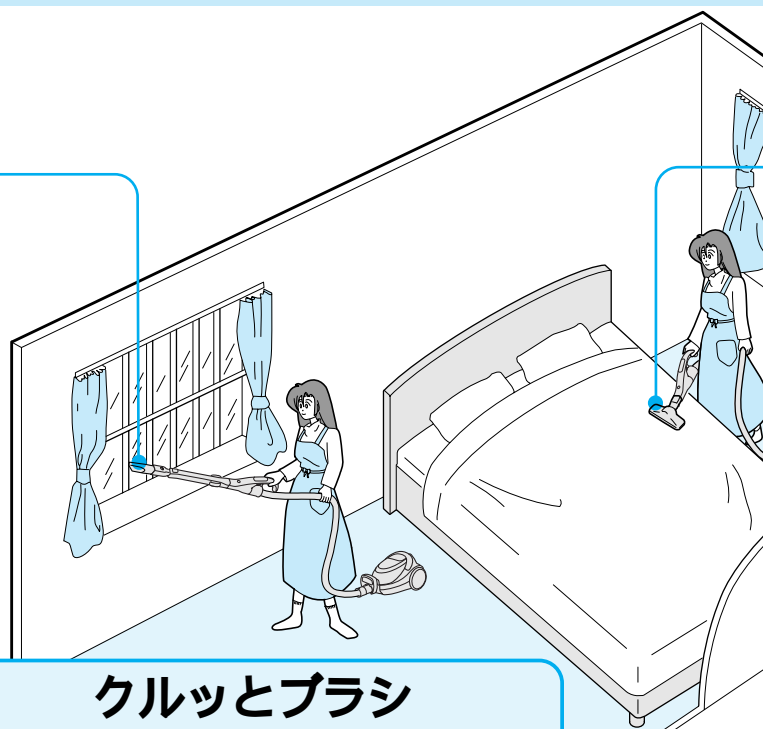
操作のしかた

上手なお掃除のしかた

付属応用部品

すき間用兼サッシ用吸口

こんなところのお掃除に

- 階段の隅
- 押し入れの隅
- 家具の間
- ソファーの隅
- ゆかの隅
- サッシの溝

取り外しかた
すき間用兼サッシ用吸口を矢印の方向へ引っぱる

サッとハンドル

階段など狭い場所で本体を移動させるときは、サッとハンドルを使うと便利です。

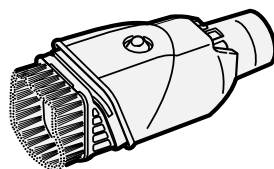
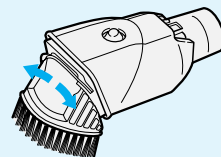
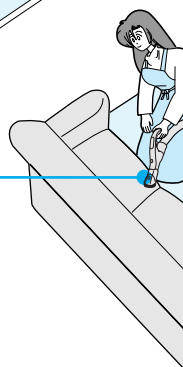
- 本体の落下や、電源コードの傷つきにご注意ください。
- 本体を持ってお掃除するときは、可動ハンドルを持ってください。サッとハンドルを持ってお掃除すると、ダストケース付近から吸気音がします。

クルッとブラシ

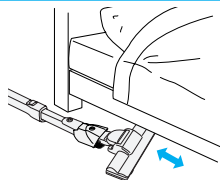
「標準」運転で

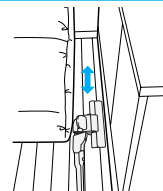
- 家具
- 棚
- 天井、壁
- ブラインド
- エアコン
- 照明器具
- ソファー

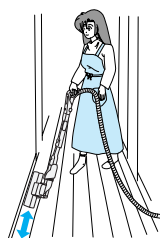
「弱」運転で

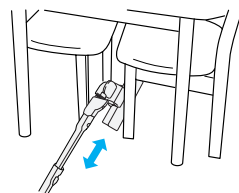
- カーテン
- 薄い敷物

ブラシの角度が変えられます。

ご注意
- ピアノなど特にやわらかい場所には押しつけないでください。傷つきを防ぐためです。

パワーヘッド

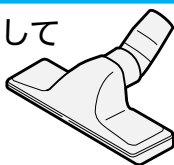
ベッドの下など

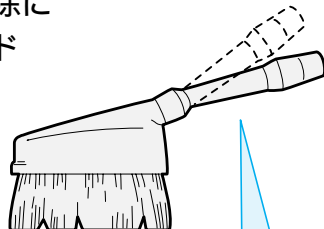
ゆか面より約7cm以上のすき間があれば、延長管を寝かせると奥までお掃除できます。

家具と家具のすき間

手もとのひねりでパワーヘッドの向きを調節すると、狭い場所にも吸口が届きます。

お部屋の隅や壁際

壁際にパワーヘッドの向きを合わせて、縦向きにお掃除すると便利です。

テーブルの下

手もとのひねりでパワーヘッドの向きを調節すると家具などを移動しなくてもお掃除できます。

ふとん用吸口（G-52）

手もと操作部に直接差して使うと便利です。
- ふとん
- 毛布
- シーツ
- ベッド

はたき吸口（D-H3）

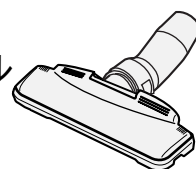
はたき感覚でブラインド、障子、家具などのお掃除に
- ブラインド
- 棚
- 家具
- カーテン
- 薄い敷物
- 障子
- エアコン
- ＡＶ・ＯＡ機器

吸口の角度を変えられます。

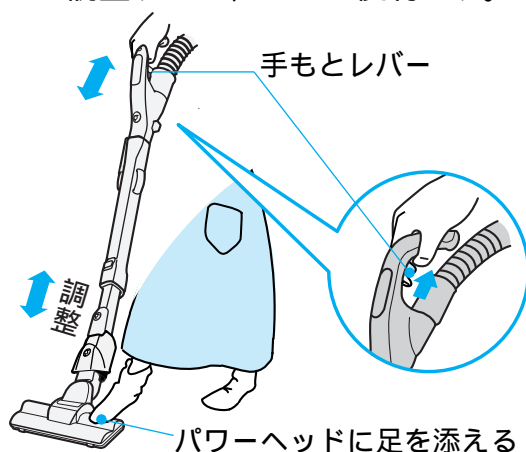
伸縮すき間用吸口（D-SH2）

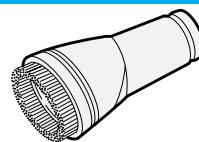
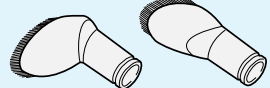
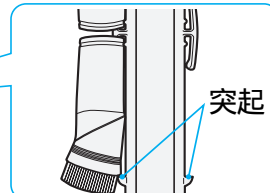
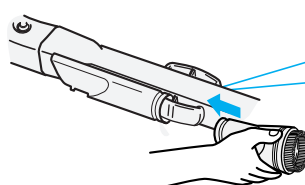
すき間の奥まで届きます。
- サッシの溝
- ソファーの隅
- 家具の間
- ゆかやたたみの継ぎ目
- 敷居

丸洗いフローリングヘッド（D-F3）

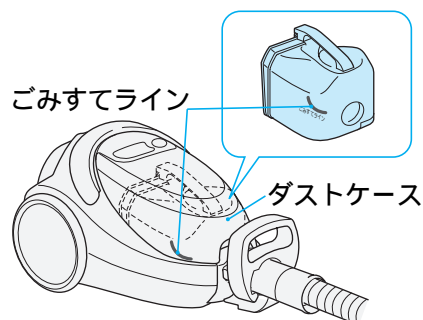
「標準」運転で
- ゆか、たたみ、タイル
- 夜、静かにお掃除したいとき

（水洗いができます）

延長管の長さを調節するには…

- パワーヘッドに足を添えて手もとレバーを引いて調整すると、とても便利です。

棚用自在吸口（D-TJ2）

こんなところのお掃除に
- 家具
- 棚
- 天井・壁
- ブラインド
- エアコン
- 照明器具
- ソファー
- 薄い敷物
- カーテン

吸口の角度が変えられます。

- 左右のフックのどちら側にも差し込めます。

ごみがたまったら

●ダストケースのごみは「ごみすてライン」を超える前に捨ててください。そのまま運転を続けるとフィルターが目詰まりし、吸込力が低下します。

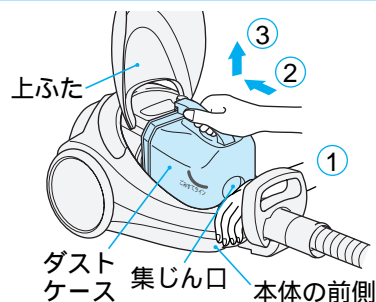
吸込力の低下を防ぐため、こまめにごみを捨てることをおすすめします。

ご注意 ●ごみを捨てる前には、「切」スイッチを押し、電源プラグを抜いてください。

ごみすてライン
ダストケース

ごみの捨てかた

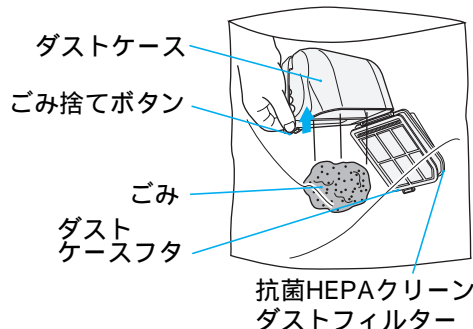
1 **①上ふたを開け、本体の前側を手で押さえ**
②ダストケースを本体後方に押しつけながら
③引き上げる

ご注意

●集じん口を下に向けないでください。ごみがこぼれる場合があります。

2 **ダストケースを大きめのごみ袋などの中に入れ、ごみ捨てボタンを押す**

●ダストケースを下向きにしてごみ捨てボタンを押し、ダストケースフタを開けてごみを捨ててください。

●ごみが出にくい場合は、ダストケースの側面をたたくなどして振動を加えてください。

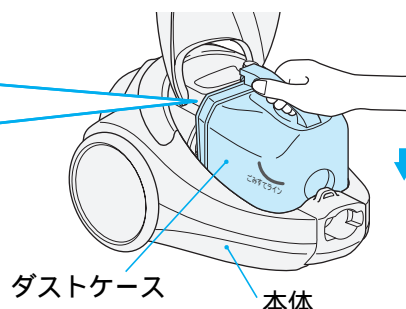
ご注意 ●抗菌HEPAクリーンダストフィルターにごみが付着した場合は、付着しているごみを付属の抗菌お手入れブラシで取り除いてください。

3 **メッシュフィルターに付着しているごみは、付属の抗菌お手入れブラシで取り除く**

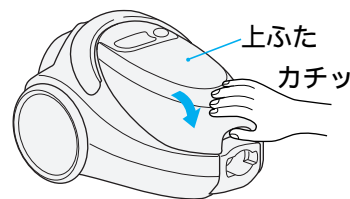
ご注意 ●ガラスの破片や虫ピンなどの鋭利な物を誤って吸い込んだときは、手を直接触れないでごみを捨ててください。けがをするおそれがあります。

4 **ダストケースフタを手で戻し、カチッと音がするまで閉める**

ご注意 ●**ダストケースおよび各フィルターは、必ず取り付けて運転してください。モーターにごみが入り、故障の原因になります。取り付けないで運転した場合には、モーターの非常に大きな音がします。**

5 **ダストケースを元どおり本体に取り付ける**

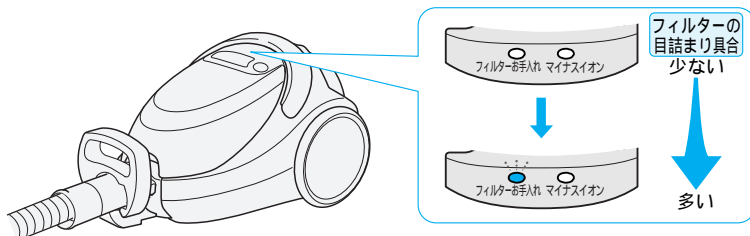
ご注意 ●ダストケースが奥まで入っていない場合「ピー」という音がすることがあります。

6 上ふたをカチッと音がするまで閉める

ご注意
- 上ふたで指をはさまないよう注意してください。
- カチッと音がするまで閉めてください。抗菌サイクロン室キャップが元どおりダストケースに取り付けられていないと、上ふたが閉まらないことがあります。☞14

お手入れ

⚠ 警告

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く
また、ぬれた手で抜き差ししない
- 感電やけがをすることがあります。

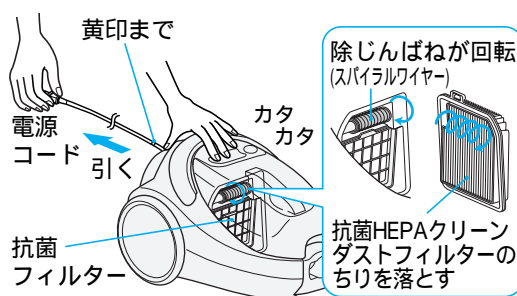
フィルターお手入れサイン

- **「フィルターお手入れ」サインは、強 標準 のとき、フィルターが目詰まりしたことを点滅でお知らせし、自動的に吸込力が低下します。(「弱」運転時は点滅しません)**

- **毛足の長いじゅたんなどで吸口が密閉されると、**「フィルターお手入れ」サインが点滅することがあります。
- **すき間用兼サッシ用吸口などをご使用のときは、**吸口を外して確認してください。吸口が付いていると、吸い込み風量が少なくなるため、ごみの量に関係なく「フィルターお手入れ」サインが点滅することがあります。
- **目詰まりしやすい砂ごみや土ぼこり、細かい綿ごみを吸わせると、**ごみすてラインまでごみがたまる前に吸込力が弱くなり、「フィルターお手入れ」サインが点滅することがあります。このようなときは、ダストケースのごみを捨てて各フィルターをお手入れしてください。
- **綿ごみなどが多い場合は、**ダストケースがいっぱいになっても「フィルターお手入れ」サインが点滅しないことがあります。

オートクリーニング機構

電源コードを引き出すときに、自動的に抗菌HEPAクリーンダストフィルターのちりを落とします。

- ちり落としの効果を出すため、お掃除のときは電源コードを黄印まで引き出してください。
- 電源コードを引き出すとき、巻き取るときのカタカタ音はオートクリーニング機構の音ですので異常ではありません。
- 電源コードを巻き取るときは、ちり落としをしません。
- ダストケースを取り外したまま、電源コードを引き出さないでください。
- 除じんばねには触れないでください。

ご注意
- ダストケースを取り外したまま電源コードを引き出すと、除じんばねの回転で、手などをけがすることがあります。

本体・付属品

水を含ませたやわらかい布をよく絞ってからふく

- ベンジン、シンナー、中性洗剤などは、変色、変形などの原因となりますので、使用しないでください。

⚠ 警　告

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く
また、ぬれた手で抜き差ししない
- 感電やけがをすることがあります。

「フィルターお手入れサインが点滅した」、「吸込力が弱くなった」、「運転音が高くなった」とき

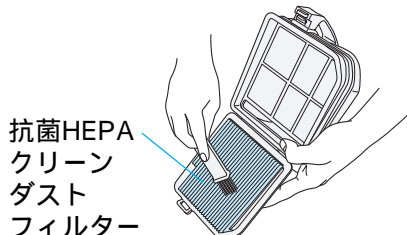
1 ダストケースを取り出し、ごみを捨て、メッシュフィルターに付着したごみを取り除く

☞ 12

お願い ● **「ごみがたまったら」に記載のフィルターのお手入れをしてください。**

2 ダストケースの各フィルターに付着したごみを取り除く

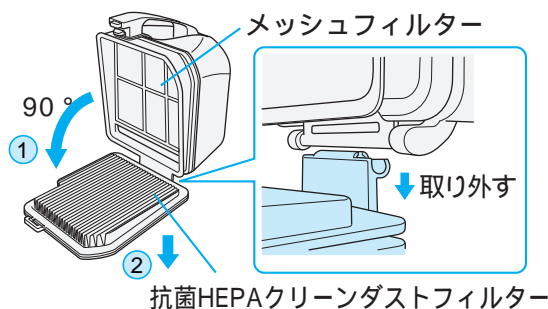
抗菌HEPAクリーンダストフィルター

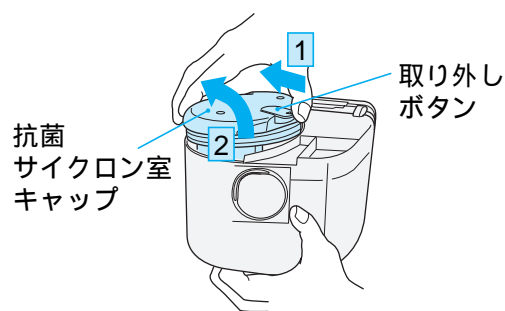
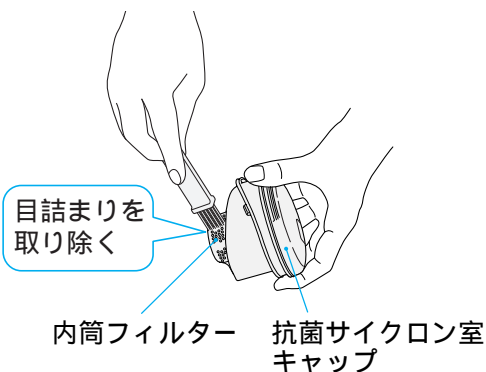
抗菌HEPAクリーンダストフィルターを開けて、付属の抗菌お手入れブラシでごみを取り除く

- ひだを広げて奥にたまったごみを取り除いてください。

- 取り外してお手入れすることもできます。

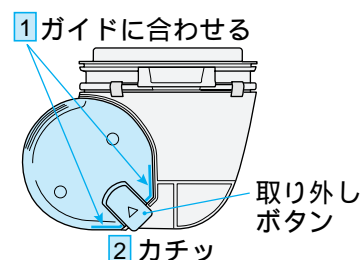
抗菌HEPAクリーンダストフィルターを取り外してお手入れをするときは

① **抗菌HEPAクリーンダストフィルターを90 °開く**
② **開いた状態のまま、下方向に取り外す**

また、元どおり取り付ける際は、取り外した逆の手順で取り付ける

内筒フィルター

① **取り外しボタンを押し、抗菌サイクロン室キャップを取り外す**

② **内筒フィルターの目詰まりを付属の抗菌お手入れブラシで取り除く**

3 ダストケースフタ、抗菌サイクロン室キャップを元どおりダストケースに取り付ける

〈抗菌サイクロン室キャップの取り付けかた〉

1 **抗菌サイクロン室キャップをダストケースのガイドに合わせて取り付ける**
2 **取り外しボタンが「カチッ」と音がするまで閉める**

4 ダストケースを元どおり本体に取り付ける

☞ 13

お願い ● 吸込力を持続させるために、月に1度を目安に定期的にお手入れしてください。
お手入れの頻度は、ごみの種類やお掃除のしかたによって異なります。

● **ダストケースおよび各フィルターは、必ず取り付けて運転してください。モーターにごみが入り、故障の原因になります。取り付けないで運転した場合には、モーターの非常に大きな音がします。**

「お手入れしても吸込力が回復しない」、「汚れが気になる」とき

各フィルターを水洗いしてください。

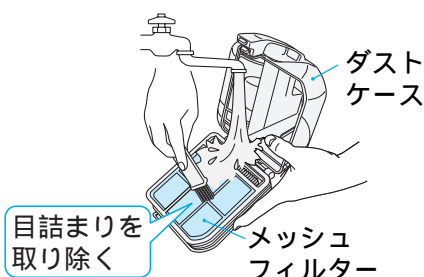
ダストケースからメッシュフィルター・抗菌サイクロン室キャップを外して付属の抗菌お手入れブラシで軽くこすりながら水洗いし、十分に自然乾燥させてから取り付けてお使いください。

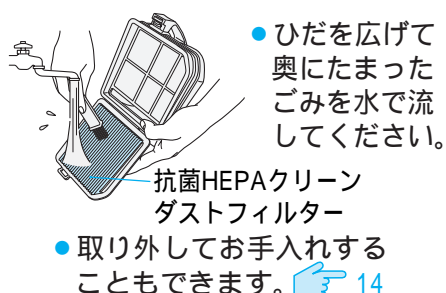
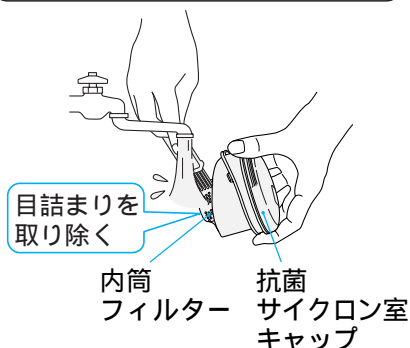
メッシュフィルター
ダストケース

抗菌HEPAクリーンダストフィルター

● ひだを広げて奥にたまったごみを水で流してください。

● 取り外してお手入れすることもできます。☞ 14

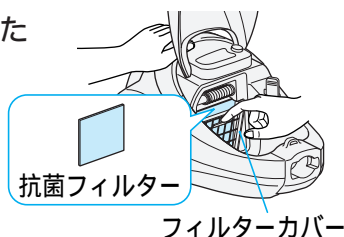
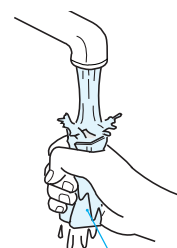
内筒フィルター

お願い

- 付着しているごみやほこりは、軽く落としてから水洗いしてください。
- 毛のかたいブラシで洗ったり、メッシュフィルターを強く押して洗わないでください。破損の原因になります。
- **洗剤・漂白剤・ベンジン・シンナー・アルコールなどを使用したり、洗濯機で洗ったりしないでください。また、ヘアードライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。性能の低下や変形の原因になります。**

抗菌フィルター

ごみやほこりが付着したときは、抗菌フィルターのお手入れをしてください。

〈抗菌フィルターの取り外しかた〉

① **フィルターカバーを取り外す**

② **抗菌フィルターを取り出す**

③ **水で軽くもみ洗いし、たたいて水気を切り、十分に自然乾燥させる**

また、元どおり取り付ける際は、取り外した逆の手順で取り付ける

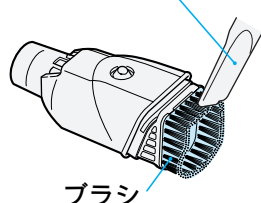
ご注意

- 抗菌フィルター、フィルターカバーはモーターの保護を兼ねているため、必ず取り付けてご使用ください。

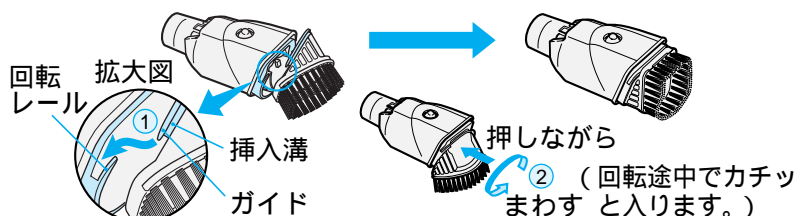
ご注意

- 水洗い後は、必ず十分に自然乾燥させてから取り付けてください。ぬれたままでご使用になると故障の原因になります。
- **ダストケースおよび各フィルターは、必ず取り付けて運転してください。モーターにごみが入り、故障の原因になります。取り付けないで運転した場合には、モーターの非常に大きな音がします。**
- 各フィルターを水洗いしても吸込力が弱い場合は、フィルターの劣化が考えられます。各フィルターの取り替えをご希望される方は、お買上げの販売店にご相談ください。☞ 20

クルッとブラシ

ブラシに付着したごみを「すき間用兼サッシ用吸口」で吸い取る

ブラシの取り付けかた（使用中にブラシが外れた場合）

① **ガイドの挿入溝を、回転レールの先端に合わせる**

② **ブラシを押しつけながら、回転させる**

お手入れ

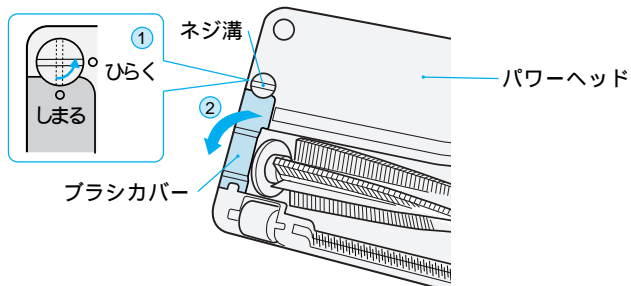
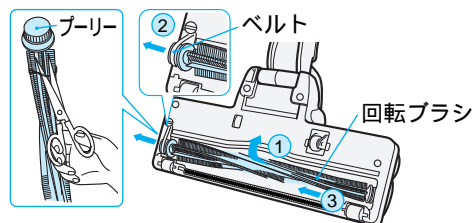
お手入れ(続き)

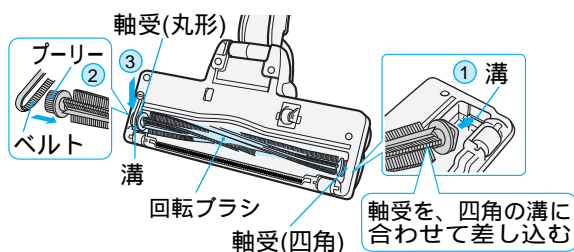
⚠ 警　告

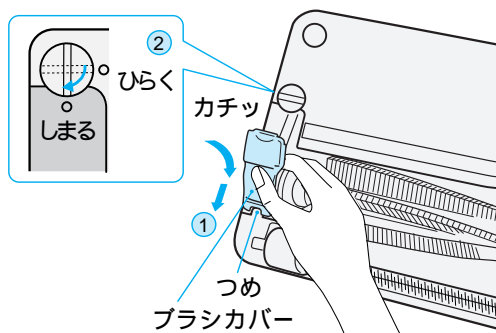
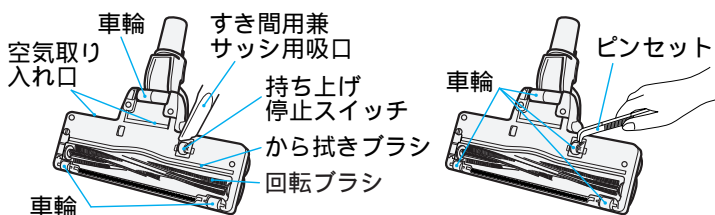
お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く
また、ぬれた手で抜き差ししない
- 感電やけがをすることがあります。

パワーヘッド(回転ブラシは取り外して水洗いできます。)

ご注意
- **必ず延長管からパワーヘッドを取り外してからお手入れしてください。**
- **水洗い後は十分に自然乾燥させてからセットしてください。**

1 ① **パワーヘッドを裏返して、コインなどでネジ溝を「ひらく」の● 印に合わせる**
② **ブラシカバーを外す**

2 ① **回転ブラシを少し持ち上げる**
② **ベルトからプーリーを外す**
③ **回転ブラシを取り出してごみを取り除く**

- 回転ブラシに絡みついた糸くずなどは、ハサミで切って取り除いてください。

3 ① **四角の軸受を溝に差し込む**
② **プーリーにベルトをかける**
③ **丸形の軸受をパワーヘッドの溝に入れる**

- 軸受に注油しないでください。

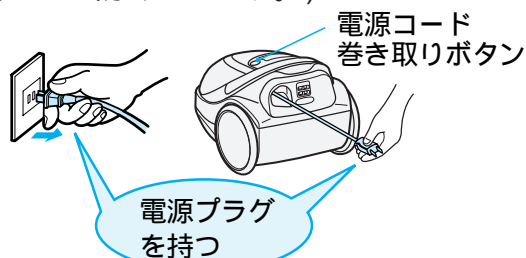
4 ① **ブラシカバーをつめに引っ掛けて閉める**
② **ネジ溝を「しまる」の● 印に合わせる**

- 持ち上げ停止スイッチ、回転ブラシ、から拭きブラシ、車輪にごみが付着していると、吸込力低下の原因になります。そのようなときは「すき間用兼サッシ用吸口」でごみを吸い取ってください。空気取り入れ口に付着したごみも吸い取ってください。
- 持ち上げ停止スイッチに無理な力を加えないでください。
- 車輪の軸に絡みついた糸くずなどは、つまようじやピンセットなどで取り除いてください。

あとかたづけ

電源コードの巻き取り

電源プラグを持って、電源コード巻き取りボタンのマーク部(⏻)を押しながら、電源コードを巻き取ってください。(跳ね上がりによるけが、家具への傷つきを防ぐためです。)

⚠ 注　意

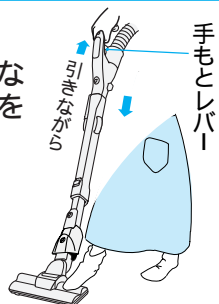
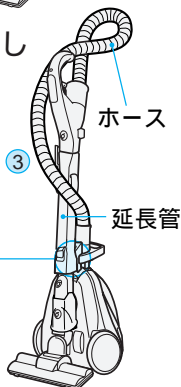
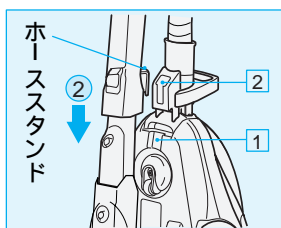
電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
- 感電やショートして発火することがあります。

電源コードを巻き取るときは、電源プラグを持つ
- 電源プラグが当たってけがをすることがあります。

あとかたづけ(続き)

スタンド収納

● コンパクト収納をお勧めします。

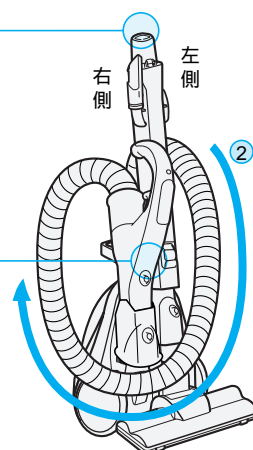
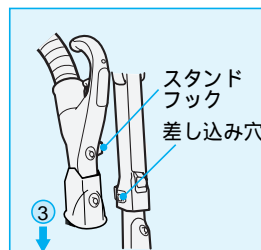
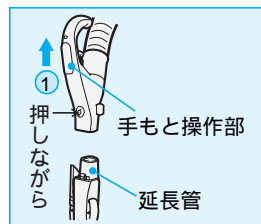
簡単収納

① スライドつまみをスライドしながら、または、手もとレバーを引きながら、延長管を縮める

② 取り付け溝にホーススタンドを差し込む
③ ホースを延長管に巻きつける

※クルッとブラシを手もと側につけているときは 1 のホーススタンドに、延長管の先につけているときは 2 のホーススタンドに差し込んでください。

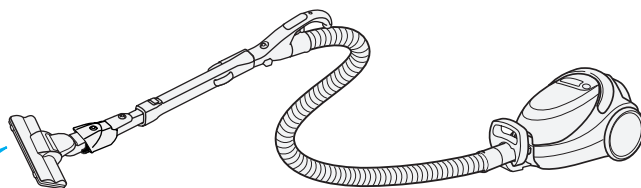
コンパクト収納

簡単収納から､さらにコンパクトに収納できます。

① 手もと操作部を延長管から外す
② 延長管にホースを巻きつける
③ 差し込み穴にスタンドフックを差し込む

※収納前に棚用自在吸口、すき間用兼サッシ用吸口が延長管フックの右下に付いている場合、左側に付け替えてください。

ご注意
- スタンド収納状態のままで持ち運ばないでください｡(ホースや延長管が外れた場合危険です。)
- 長期間使用しないときや、狭い所に収納するときは、コンパクト収納にしてください。
- ストーブの近くや高温になる場所での収納はしないでください。(ホースが変形する原因になります。)
- ホースが変形するような状態での収納はしないでください。

保護装置について

保護装置(本体・パワーヘッド)

パワーヘッドの保護装置について

次の場合には保護装置が働いて、パワーヘッドのモーターが止まることがあります。
- 異物をかみ込んだ場合
- パワーヘッドを押しつけたり、特に薄いじゅうたん、毛足の長いじゅうたんなどをお掃除した場合

〈処置のしかた〉
- 保護装置が働いたときは
  ① 電源プラグを抜く
  ② 回転ブラシや軸受などのごみを取り除く ☞16
  ③ 約5分間待って使用する

本体の保護装置について

フィルターお手入れサインが点滅したままお使いになると、モーターの過熱防止のため保護装置が働いて、本体の運転が自動的に停止することがあります。

〈処置のしかた〉
- 保護装置が働いたときは
  ① 電源プラグを抜く
  ② ごみを捨てるか、または、ホース、延長管、パワーヘッドなどに詰まったごみや排気口などをふさいでいる物を取り除く ☞12
  ③ 約1時間待って使用する

保護運転

- 本体の温度が高くなったときは、モーターの過熱防止のため自動的に電力を抑える保護運転になることがあります。フィルターをお手入れしてください。☞14, 15

故障かなと思ったら

こんなときは	調べるところ	直しかた
吸込力が弱い、「フィルターお手入れ」サインが点滅している	● ダストケースのごみがいっぱいになっていませんか。	「ごみがたまったら」☞12 をご覧になり、ごみを捨ててください。
	● フィルターにごみが付着していませんか。	**「お手入れ」☞13~15をご覧になり、メッシュフィルター・抗菌HEPAクリーンダストフィルター・内筒フィルターをお手入れしてください。**
ダストケースのごみがいっぱいになっていないのに吸込力が弱い、「フィルターお手入れ」サインが点滅している	● フィルターにごみが付着していませんか。	**「お手入れ」☞13~15をご覧になり、メッシュフィルター・抗菌HEPAクリーンダストフィルター・内筒フィルターをお手入れしてください。**
	● 延長管、ホース、つぎてにごみが詰まっていませんか。	延長管、ホース、つぎてのごみを取り除いてください。ごみの詰まりの除去は、使い古しの歯ブラシなどを使うと効果的です。
	● パワーヘッドにごみが詰まっていませんか。	「お手入れ」☞16 をご覧になり、ごみを取り除いてください。
	● 延長コードを使用したり、ほかの家電製品と同一のコンセントでお使いになると、電源電圧の低下によりフィルターお手入れサインが早く点滅する場合があります。定格15A以上のコンセントを単独でご使用ください。	
運転中に急に吸込力が弱くなり「フィルターお手入れ」サインが点滅するが、しばらくすると吸込力が回復する	● 吸口を押しつけたり、ふさぐようにして薄いカーペット、毛足の長いじゅうたんなどを掃除していませんか。 ● すき間用兼サッシ用吸口、クルッとブラシをカーテンなどに押しつけたりふさぐようにして掃除していませんか。	モーターの過熱防止のため、自動的に電力を抑える運転をしています。異常ではありません。 ① 回復しにくい時は、「切スイッチ」を押し、もう一度運転をしてください。 ② 回復後は、吸口に力を入れず、すべらせるように軽く動かしてください。 ③「標準スイッチ」での運転をおすすめします。
モーターが回らない	● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。☞8
	● 保護装置が働いて運転が停止していませんか。	電源プラグを抜いて詰まったごみや排気口などをふさいでいる物を取り除き、約1時間後にご使用ください。☞17
	● 本体にホースが確実に差し込まれていますか。	「カチッ」と音がするまでしっかり差し込んでください。☞6
パワーヘッドの回転ブラシが回らない、または回りにくい	● 本体、ホース、延長管、パワーヘッドがしっかり接続されていますか。	それぞれしっかりと接続してください。☞6
	● 保護装置が働き、パワーヘッドのモーターが停止していませんか。	① 電源プラグを抜く ② 回転ブラシや軸受などのごみを取り除く ③ 約5分間待って使用する ☞17
	● 回転ブラシ、軸受、持ち上げ停止スイッチにごみなどが絡みついていませんか。	「お手入れ」☞16 をご覧になり、ごみなどを取り除いてください。
	● 吸口部がゆか面から浮いていませんか。	ゆか面から離すと回転ブラシは止まりますので異常ではありません。☞9
	● パワーブラシスイッチが「切」になっていませんか。	もう一度、パワーブラシスイッチを押して、「入」にしてください。☞8
本体から「ピー」という音が出る	● 本体にダストケースが確実に取り付けられていますか。	本体にダストケースを奥まで確実に取り付けてください。☞12
電源コードが全部入らない、または引き出せない	● 電源コードが片寄って巻き込まれたり、よじれたりしていることがあります。電源コード巻き取りボタンを押しながら、電源コードを黄印まで引き出してよじれを直したあと、もう一度巻き込んでください。	
排気や本体があたたかくなる(特に夏場)	● 空気の流れでモーターを冷却しているためで、あたたかくなるのは異常ではありません。	
排気から異臭が出る	● フィルターにごみが付着していませんか。	「お手入れ」☞15をご覧になり、メッシュフィルター・抗菌HEPAクリーンダストフィルター・内筒フィルターをお手入れしてください。
クルッとブラシのブラシが出ない	● 内部にごみが詰まっていませんか。	ごみを取り除いてください。ブラシに付着したごみは「すき間用兼サッシ用吸口」で吸い取ってください。☞15

アフターサービスと保証について

使用中に異常が生じたときは

この取扱説明書をよくお読みのうえ、「故障かなと思ったら」**18の点検をしていただき、それでも故障と思われる場合には、ご自分で修理なさらないでお買い上げの販売店にご相談ください。**

- アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口にお問い合わせください。
- 修理を依頼されるため、掃除機を販売店にお持ちの際は、付属品(ホース、延長管、パワーヘッド)もごいっしょにお持ちください。

アフターサービスをお申しつけのときお知らせください。

1 形名－CV-SH10
2 症状－できるだけ詳しく

保証について

この商品は保証書付きです。

- 保証書は販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますから、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げの日から1年間です。
  なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
  修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
  当社は販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

転居される場合

- ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。
- 電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても、部品の交換は不要です。

部品の保有期間について

この掃除機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。
補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

愛情点検

★長年ご使用の掃除機の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？			ご使用中止	
	● スイッチを入れても時々運転しないことがある。 ● 電源コードを折り曲げると、通電したり、しなかったりする。 ● 運転中に異常な音や振動がする。 ● 本体が変形していたり、異常に熱い。 ● 焦げ臭い“におい”がする。 ● その他の異常があるとき。			このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87
(受付時間) 365日／9:00～19:00

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34
(受付時間) 9:00～17:30／携帯電話、PHSからもご利用できます。日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。
価格は、2005年4月現在の消費税率を基に総額表示を行っています。

●**ふとん用吸口**(G-52)	●**はたき吸口**(D-H3)	●**丸洗いフローリングヘッド**(D-F3)
希望小売価格1,785円(税抜 1,700円)	希望小売価格3,990円(税抜 3,800円)	希望小売価格5,250円(税抜 5,000円)
●**抗菌お手入れブラシ**	●**伸縮すき間用吸口**(D-SH2)	●**棚用自在吸口**(D-TJ2)
サービスパーツCV-SH10-001とご指定ください。希望小売価格 420円(税抜 400円)	希望小売価格 1,680円(税抜 1,600円)	希望小売価格 1,260円(税抜 1,200円)

●上記希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

	部品名	抗菌の確認を行った試験機関名	試験方法	抗菌の方法	抗菌の処理を行っている部分の名称
抗菌効果	パワーヘッド(抗菌消臭イオンパワーヘッド)	(財)日本紡績検査協会	JIS Z 2801	樹脂に練り込み	プラスチック
	光触媒回転ブラシ	(財)日本化学繊維検査協会	JIS L 1902	繊維に付着	刷毛
	抗菌サイクロン室キャップ	(財)日本紡績検査協会	JIS Z 2801	樹脂に練り込み	プラスチック
	抗菌HEPAクリーンダストフィルター	(財)日本紡績検査協会	JIS L 1902	繊維に付着	シート状不織布
	抗菌お手入れブラシ	(財)日本紡績検査協会	JIS Z 2801	樹脂に練り込み	プラスチック
	抗菌フィルター	(財)日本紡績検査協会	JIS Z 2801	繊維に練り込み	不織布

仕　様

電　源	100V　50-60Hz共用	**質　量**	5.0kg(標準付属品を含む)
消費電力	1000W～約300W	**本体寸法**	長さ330mm×幅255mm×高さ214mm
吸込仕事率	590W～約80W	**標準付属品**	ホース……1本 パワーヘッド……1個 延長管……1本
運転音	59dB～約53dB		
集じん容積	0.8L	**付属応用部品**	サッとハンドル……1個 すき間用兼サッシ用吸口……1個 抗菌お手入れブラシ……1個 クルッとブラシ……1個
コードの長さ	5m		

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名　　　　**電話**

ご購入年月日　　**平成**　　**年**　　**月**　　**日**

日立 ホーム&ライフソリューション株式会社

〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03)3502-2111

3-K3508-3B　D5(H)